 シリーズ「きょうだいの思い」 42

恋愛

～“真っ白”どころか“無色透明”～



彼と私の休日にあたる週末に、当時の市立養護学校(郡家本町)へ弟を迎えに行った。その日は、弟が通う施設の行事だったのか、市内の施設の交流会だったのか忘れてしまったが、体育館を覗くとたくさんの障がい者がいた。

弟は義務教育を卒業して数年間、障がい者に理解のある花屋で働いていたので、私は初めて“障がい者ばかりの集団”を目の当たりにした。義務教育の間、地域の学校で健常者に交ざって過ごしてきた集団とは全く違う。体育館を覗いて目にした光景が痛烈だったのと同時に「これが現実なんだな」と、心静かに受け止める自分がいた。

体育館から弟が出て来るのを運動場で待っていた。学生時代、共に歩む会で出会った障がいを持つ人を何人か見かけて声をかけた。その中で、いつも穏やかな笑顔で「〇〇さ～ん」と私を呼んでくれる人の近くに寄って、声をかけた。両手を胸の前でひねるように合わせ、大きな澄んだ瞳でずーっとな私を見つめている。私は、隣に立っていた彼に「〇〇ちゃんの瞳、めっちゃキレイやろ～。これだけずっと見つめてるのに瞬きせーへんねんで～」と話した。笑いながら軽～い感じで話す私に、彼は真顔で「瞬きせーへんのも障がいなん？」と尋ねてきたのである。

「えーっ？ちがうで、ちがうちがう！」と私は説明をした。いかに彼が障がい者に無知なのか、この場面が全てを物語っている(笑)

俗に言う、障がい者について“真っ白”どころではない。“無色透明”彼の中には色を載せる画用紙すらないのだと衝撃的な言葉だったが、私はこの日、そんな彼だからこそ抱くストレートな感情に向き合うことになる。

まえほ
つうしん
前穂通信

発行日

2016年4月1日

発行元

自立センター前穂
〒569-1022
高槻市日吉台
1番町21-18
072-689-8600

 eラーニング研修システム導入に関して

4月より、スタッフの介護技術、知識向上を目的とした研修システム、eラーニングシステム(障がい者支援者教育プログラム：株式会社Lean on Me)の導入を予定しております。


eラーニングとは、パソコンやタブレット、携帯端末などで研修を受講できるシステムです。

内容としましては、【SAFETY】では『心肺蘇生法』や、『適切な支援方法』など8章

【HEALTH】では『個人の健康への対応』や、『適切な薬剤投与』など7章 【RIGHTS】では『障がいのある方の権利』や、『虐待の事例と捉え方』など5章となっており、スタッフのスキルアップ、より良いゲストへの接遇に役立てたいと考えております。

 障害者差別解消法施行

4月1日より『障害者差別解消法』が施行されました。この法律は、国や市町村といった行政機関や、会社やお店などの民間事業者が、『障がいを理由とする差別』をなくすための措置を定め、互いに人格と個性を尊重し、共生できる社会をつくることを目的とします。また、障がいを理由とした差別『不当な差別的取扱い』の禁止や、障がい者から配慮を求め意思表示があるにもかかわらず、合理的な配慮をしない『合理的配慮の不提供』の禁止などが定められています。

 ご持参物にはお名前をお願い致します

- ①. ご利用の際、忘れ物や間違いの発生を防ぐために、御持参品には、全てにご記名の程、何卒、宜しくお願い致します。
- ②. 歯ブラシ、髭剃り器、などは、ご持参頂くのを基本としております。
(万一お忘れの場合でも、歯ブラシなど標準品はご用意しておりますので、ご安心頂けますよう宜しくお願い致します)